

神奈川

発行 立命館大学
校友会神奈川県支部

〒221 横浜市神奈川区
鶴屋町 2-21-9
東亜興産ビル内

広報担当 (発行 1000部)
☎ (045) 312-1321

6代 立命館 総長に 谷岡武雄 名誉教授 選出される!

学校法人立命館は昭和59年12月16日、総長選挙を行い12月限りで健康を理由に辞任した天野和夫総長の後任に立命館大名誉教授・谷岡武雄氏(69才)を選出した。中学・高校・大学を持つ立命館総長は教学の最高責任者で大学長も兼ねるから専任の現職教員の中から選ばれる。学内行政に実績のある現役候補を抑え、建学85年で初めて文学部C・B教員からの総長誕生は地理学で世界に知られた生え抜きの学究を表看板に押し立てたことになる。

古代の土地開発を調べる桑屋制復元の第一人者。フランスの村落構造に詳しく多くの国際学会の役員もつとめる。
(関連記事 第7面に)



○立命館大学神奈川県支部総会(第3回)開催される

- ・日時 昭和60年3月21日(祝日)午後6:00~
- ・場所 横浜国際ホテル(横浜駅西口 徒歩5分)
- ・会費 ￥10,000(今年会費 3,000円)
- ・来賓 谷岡武雄 立命館大学総長・前田孝生 立命館校友課長
- ・アトラクション・・・ピクチャー専属歌手「米倉ますみ」

○ゴルフコンペ(第3回)

- ・日時 昭和60年4月7日(日) 集合現地ロビー 8時
- ・場所 沼津国際カントリークラブ
沼津市愛蔵字馬上 ☎(0559) 33-3222
- ※ 幹事: 茂山哲也(31年理工卒) ☎(045) 712-0787

○美術鑑賞会(第3回) モダンアート展

- ・日時 昭和60年4月14日(日) 午後1:00~
- ・場所 東京都美術館(上野)

○鯛鮓一泊旅行・・・5月上旬

○テニス・つり・講演会・ハイキング・囲碁将棋等・・・4月~7月

- 情報交換会(仮称)・・・昭和59年7月から毎月第3水曜日に開催している
会合は会場を「ル・デューク」へ移しました。(詳細は第9面に)
※ 月例会には 会員家族の参加歓迎します。

第3回 神奈川県支部総会開かれる

本日(3月21日)は多忙な折、多数の校友の方々御出席下さりありがとうございます。ここに第3回支部総会を開催致します。

○ 支部役員 (案)

顧問	関口要三 (大14年専経)	小田切義雄 (18年文)							
支部長	勝田寛一 (25年文)								
副支部長	岸本哲夫 (26年法)	相沢良信 (30年理工)							
幹事長	斎藤孝弥 (27年経)								
副幹事長	茂山哲也 (31年理工)	浜田平穂 (31年文)							
監事	森田康夫 (19年理)	織田陽司 (35年理工)							
幹事	武田 山本 福田 上田 綴本							重	谷
	登川 石井 車 小野 添田							芝	野
	柗本 小西 山口 橋本 都築							谷	本
	長谷川 山下(保) 川 俣 長 浜								

- ※ 会計 委員長 重谷 委員 浜田
- 名簿 委員長 登川 委員 都築
- 広報 委員長 武田 副委員長 上田, 都築
- 事務局 委員 長谷川, 山下, 川俣, 長浜
- 局長 浜田

○ 神奈川県支部のあゆみ

- ・支部設立にむけて
- 昭和57年10月神奈川県在住の立命館校友名簿にもとづいて東亜興産㈱の相沢・福田・浜田様が神奈川県支部設立の意見を求めるハガキを送
- ・昭和57年10月～昭和58年2月 世話人会・準備会
- ・ 58年2月11日 神奈川県支部設立総会 於：川崎日航ホテル
- ・ 58年3月6日 講演会「徳川家康」 NHK チーフディレクター大原誠氏
- ・ 58年3月30日 りつめい神奈川 創刊号発行
- ・ 58年4月17日 美術鑑賞会 東京都美術館
- ・ 58年5月8日 講演会「政界放談」前衆議院議員 田中伊三次先輩
- ・ 58年8月20日 りつめい神奈川 2号発行
- ・ 58年8月28日 講演会「日本人はどこからきたか」田辺昭三氏
- ・ 58年10月16日 ハイキング 厚木高松山
- ・ 59年3月1日 りつめい神奈川3号・支部名簿発行

◎ 昭和59年度

- ・ 昭和59年4月1日 第2回支部総会 於：ヨコハマプラザホテル
- ・ 59年4月16日 第2回美術鑑賞会 於：東京都美術館
- ・ 59年5月13日～14日 第1回ゴルフコンペ 於：館山カントリークラブ
- ・ 59年6月1日 りつめい神奈川 4号発行
- ・ 59年6月10日 講演会「日本の仏像について」淀井敏夫氏
- ・ 59年7月18日 より毎月第3水曜日に情報交換会(仮称) 8回
- ・ 59年10月1日 りつめい神奈川 5号発行
- ・ 59年10月9日 第2回ゴルフコンペ 於：平塚富士見カントリークラブ
- ・ 59年10月21日 第1回海つり大会 於：片瀬江ノ島・相模湾
- ・ 59年12月9日 忘年大会 於：横浜大飯店
- ・ 60年1月～3月 総会開催のため幹事会・準備会

◎ 昭和60年3月21日 第3回支部総会 於：横浜国際ホテル
 りつめい神奈川 6号発行

立命館大学校友会 神奈川県支部 会計報告

昭和60年2月末日

会 計 浜田 平穂
重谷 務

取 入 の 部	支 出 の 部
前年度より繰越 168,306	
会 費 262,000	印 刷 代 63,780
総会々費 516,000	総会費用 671,430
寄 付 金 61,100	通 信 費 232,210
忘年会々費 300,000	忘年会費用 235,623
月例会収入 2,760	事務用品費 360
本売上収益 9,740	
利 息 111	次年度繰越 116,614
計 1,320,017	計 1,320,017

(自 59. 3. 1 至 60. 2. 28)

立命館大学校友会 神奈川県支部 昭60年度 会計予算案

会 計 浜田 平穂
重谷 務

取 入 の 部	支 出 の 部
前年度より繰越 116,614	
会 費 450,000	印 刷 代 70,000
総会々費 700,000	総会費用 700,000
寄 付 金 80,000	通 信 費 300,000
集会々費 300,000	集会費用 300,000
	雑 費 100,000
	次年度繰越 176,614
計 1,646,614	計 1,646,614

※ 会費払込みのお願い

- ・会員一人ひとりの会費が 今後の支部の充実した運営、発展に結びつくこと御認識のうえ 皆様の御支援、御協力をお願いいたします。
- ・会費が有効に使われますよう御意見をお寄せ下さい。

立命館各分野で活躍

○国家公務員上級合格者(昭59年度)

東大	527	神戸大	16
京大	216	中央大	16
北海大	101	一橋大	14
早大	80	広島大	14
東工大	77	三重大	12
東北大	71	岩手大	11
九州大	51	横浜国大	11
慶大	42	東京水産大	10
名古屋大	41	立命館大	10
大阪大	40		
筑波大	27		
東京農工大	21		
千葉大	17		

○司法試験に3名の合格者!

法務省は10月31日、昭和59年度の司法試験合格者を発表した。本年度は二次試験出願者23,956名、最終合格者453名で52.9倍の競争率であった。このうち立命館大学出身の合格者は8名、全国大学別ランキングで第11位と健闘した。

東大	102	一橋大	16
中大	84	九大	15
早大	76	大阪大	10
京大	25	創価大	9
慶大	24	立命館大	8
明大	18		

・阪神タイガース監督に吉田氏復帰

阪神タイガースの新監督に元監督で評論家・吉田義男氏(51才)の7年ぶりの復帰が決った。吉田氏は東部山城高から立命大を経て28年阪神入り、44年に退団するまで1メートル65と小兵ながら華麗な守備で鳴らし、牛若丸の愛称で親しまれた。阪神の一時代を築いた名遊撃手で通算264犠打のプロ野球記録を持つ。打撃ベストテン入り7回、盗塁王2回、ベストナイン9回、オールスター戦には13回出場。49年10月に阪神監督に就任したが52年10月成績不振の責任をとって辞任した。



○校友消息・・・情報交換会の推進者の一人である石田本清氏(30年理工)は昨年11月、四国へ転居されました。事務局へ挨拶状が届いていますので載せました。あわせて氏の御活躍を祈念致します。

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私儀創立以来二十三年間にわたって勤務致して参りました日本オリベッティ株式会社を去る十二月十四日付けで退職致し、十二月十八日、石田商事株式会社を設立致しました。日本オリベッティ在職中は公私にわたり格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。今後は日本オリベッティ代理店としてオリベッティ製品の販路を主として進めてゆきたい所存でございますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りませうようお願い申し上げます。校友会神奈川支部の皆様、短い間でしたがありがとうございます。会の益々の発展を遂ぐ四国の地よりお祈り申し上げます。

石田商事株式会社 代表取締役社長 石田 本清
〒791-01 松山市溝辺町甲 332 中道後ハイツ 舎 (0899) 77-7078

我が立命館の生んだ作家「正延 哲士」氏の著書を紹介します。是非、御一読下さい。

- 新・国姓爺伝説 徳間書店 ￥680
- 日本叛乱伝説 ク ￥700
- 遙かなり祖母の河 ク ￥680
- 最後の徳徒 渡谷守之の半生 三一書房 ￥1,800

※ 正延 哲士 (1931年生 立命館大学 哲学科中退)

四十年の思い出 硫黄島へ出撃する

森田 康夫 (昭和19年理卒)

学窓から海軍へ・・・真珠湾の先制攻撃による緒戦の戦果に酔っていた軍部も昭和十八年秋頃から徐々に日米の航空戦力が質量ともに米側が優勢になってきたので丁度私が昭和十九年、三年生になった頃に、日本の最前戦基地であるラバウル航空隊はトラック島へ引き上げ命令が出されました。その頃あと六ヶ月で繰り上げ卒業ができる学生のうち徴兵検査で第一種乙以上の合格者は必ず陸海空軍を志願するのが通例となっておりました。それで私も昭和十九年五月には海軍技術見習尉官と海軍予備学生を併願し、技術見習尉官は学科試験がまずかったせいかな？不合格となり、当時消耗品といわれていた予備学生のパスポートを得ることになりました。また卒業後の就職先も今とちがって結構なもので明日のいのちの保証も出来ない若者でも主任教授の推薦で当時航空燃料の耐爆剤「四エチル鉛」を陸海軍の管理下で生産していた皇国第765工場「現在の日本曹達物二本木工場」へ内定しました。こうなれば就職はとも角として仮に死の恐怖さえもたなければ卒業まであと僅か四ヶ月、戦況は刻々と不利なれども帝国海軍士官になれる同僚達の勉強は最小限度の単位のみ。あとは暇をみつけて新京極河原町や西陣はたまた北野方面まで豪放無礼の振舞いで西陣署の厄介になったものです。

海軍航空隊から硫黄島へ・・・昭和十九年九月に繰り上げ卒業・十月一日付で海軍予備学生として館山海軍航空隊へ入隊しました。航空隊では最初は軍服を着せられた中味は素人の軍人でそれからの訓練は大変なものでした。朝夕の釣床訓練・手旗訓練・カッター練習・棒倒し・銃剣術等による心身の鍛練はもとより軍人精神の注入という名目で二ヶ月の基礎教育を受けました。

次の六ヶ月は専門教育として夫々個人別に分類され私は偵察兵器の将校となる分野に配属され、実戦教育を前掲として学科訓練はもとより関東平野や成田の上空を飛び回り訓練を重ねて、昭和二十年敗戦の色も濃い頃に偵察部隊の将校として実戦部隊に配属されました。その頃連合艦隊司令部は太平洋戦争の最前戦基地を確保するため「あ号」作戦を行ったが機動部隊の柱とする主力空母の三隻を失い壊滅的なダメージを受けた。更にミッドウエー海戦で戦局逆転のターニングポイントとなり、サイパン島の陥落で本土防衛の基地を失い、米連合艦隊は硫黄島に対し海空より総攻撃を加えてきた。摺鉢山と元山飛行場を捨てて全員玉砕となりました。ここで制空権は完全に米軍に抑えられ、最後の沖縄戦となる神風特攻隊を編成することになりました。

私も丁度この頃偵察隊の一員として昭和二十年六月には既に米軍の占領下にある硫黄島への出撃を命ぜられて元我が軍の元山飛行場における B-29及び B-24 滑走路の撮影を行いました。当時日本の偵察機は敵戦闘機グラマン F6F より性能のよい彩雲であり、これに二名の下士官と死を覚悟して同乗し敵の戦闘機に追われながら航空写真をとったものです。当時米軍は日本の前戦基地を占領すると僅か一ヶ月位の短期間で B-29 および B-24 が発着できる様に改造する土木技術をもっており今から思うにあらゆる面で日本が立ち遅れていた事を痛感致します。この様にして八月十五日、敗戦の憂き目にあい復員し気がついてみたら焼野ヶ原に食物と職を求める人生をスタートすることになったわけです。

自宅 〒233 横浜市港南区下永谷町
2308-2-101

勤務先 森田技術士事務所々長



ジョキングは私を変えた

白井治 (35年文 日本史学専攻卒)

ジョキングを35才からはじめて11年4ヶ月がすぎたが、ジョキングは私をすっかり変えてしまった。腰痛の原因がはっきりつかめず、内科の先生から老化予防と体力の快復をかねて何かスポーツをやってみてはと言われて簡単に出来る運動がよいと考えてジョキングをはじめた。

これまで走った距離は24,810キロですから一日平均6キロということになり、18年間で地球一周走破を目標に毎日ガンバッテいます。よくジョキングの効果を聞かれますが、書き出せばきりがありません。一番は、快食・快眠 快便・快セックスということです。結果としていつも頭がすっきりしています。肉体的に自信があるということは健全な精神が宿るということで、持続的な努力が出来るようになり、忍耐力が付き、物事を長期的計画的にとらえることが出来ます。



仕事に対する自信、趣味を楽しむ原動力にもなっています。

一年を通じて朝は5時半から6時に起き、夜は10時には床につく。

出勤前に約1時間走ることにしています。日曜・休日に長距離をやり一日平均6キロになるよう走っています。他に水泳・空手も定期的にやっていますが、どれも友達が出来ること、視野が広がること、ストレスがとれること、全体的に生活が充実し何物にもかえがたい。人生とは瞬間の連続である。今日一日に全力を尽せと言われていています。人生とは努力の連続であり、成果は努力の積み重ねの結果である。他人の出来ないことをやっている自信、優越感を持っているのは気持のいいものです。私が走っているコースに65才ではじめて82才の人がいますが、いずれこの人のようになりたいと思っています。

ここまで読んだ人は、随分ガチガチの面白くない人生じゃないかと思われるかも知れませんが、一年の70%がこのペースであり、あとの30%は、友達と飲んだり、映画を見たり、好きな本を読んだり、時間が少なくて困るくらい楽しんでます。もし18年で一周できたら二周目は一日5キロの22年間で走破して人生を終わりたい。そう計画しています。

自宅 〒272 市川市菅野 4-8-7

勤務先 株式会社 荻原 東京支店 取締役支店長

とびくす——白川静(立命館大学名誉教授)の研究の成果

およそ六千の漢字を取録した白川静著「字統(じとう)」が刊行された。(平凡社 16,500円)。漢字の成りたちからその意味、意味の変化などを系統的に解説した漢字の字源辞典。常用漢字形のほか旧字、俗字の類も収め甲骨文、てん文などの原初の形を示して字形の変化を明示している。白川氏が五十年をかけた研究成果を盛りこんでいる。毎日出版文化賞受賞

谷岡総長特集

※谷岡総長誕生をお祝いして地理学科卒業生より一筆書いてもらいました。

○ 恩師「谷岡先生」

都築 治 (41年卒・KEAコンサルタンツ オフィス 所長)

昭和36年に立命館大学文学部に入学した。谷岡先生は、私達の担当教官であった。いつもダブルの服装で、しぶく端正であられた。寸分の時間を大切に、御研究をなさっているのが、ピンピンと私達に伝わってきた。そのことが、私にとっては近付きにくさともなった。後年、先生の当時代を「鬼の谷岡の時代」と噂ど聞いて、なるほどと思った。ちなみに、私は先生の格別のお計らいによって、立命館で5年間を過ごさせていただいたのである。

○「谷岡先生を語る」

松田松男 (44年卒・県立小田原城内高校 教諭)

学生の時、既に一方的な面識はありましたが、講義はゼミのただ一度だけでした。その頃は正直いって、先生が弱かった。片言のお話ができる機会をもてるようになったのは私が同校友会・ご退職記念・地理学教室50周年、そして東京での学会などでお会いするようになってからのことで、まさに「仏の谷岡」といわれる頃からです。先生のご功績・ご高名はいま神奈川県に住んで研究のまねごとをしている間に、ひしひしと感じてきました。実の所、新聞記事にて総長にご就任されたことを最初に気付いたのは家内でした。立命館の地理はいまや全国的なものに成長しております。先生が総長としてご健在であることはとてもなおさず、立命館の地理のより一層の発展を意味しているわけです。私は今までより更に心の中で立命館の地理を象語したいと思ひます。先生のご壮健と一層のご活躍を祈念し、お祝いのことばと致します。

※立命館地理学教室を私学一にした谷岡総長の略歴と著書を紹介します

総長略歴と著書紹介

- 大正5年 京都府綾喜郡多賀村(現井手町)に生まれる。
 昭和19年 立命館大学 法文学部 地理学科卒
 ♪ 21年 ♪ 予科・立命館専門学校講師
 ♪ 22年 ♪ 文学部 講師
 ♪ 25年 ♪ 助教授
 ♪ 30年 ♪ 教授
 ♪ 33年 学術海外研究制度により約1年間フランスを中心に外国留学
 ♪ 37年 東京大学より理学博士の称号を受く
 ♪ 44年 立命館大学 文学部長 (~ 46年)
 ♪ 49年 人文地理学会々長 (~ 51年)
 ♪ 50年 ベルギー・リエージュ 大学章を受章
 ♪ 51年 国際地理学連合 (IGU) 作業部会 委員長 (~ 58年)
 ♪ 56年 立命館大学 文学部 特別任用教授
 フランス政府よりパルム・アカデミック勲章のオフィシエ章を受章
 (日本の文化功労章にあたる)
 ♪ 59年 立命館大学 文学部 名誉教授
- 現在 パリ地理学会名誉会員・日仏地理学会副会長
 日本地理学会・日本地理教育学会・日本国際地図学会
 歴史地理学会・近畿都市学会・・・各評議員または理事
- 著書 平野の地理・平野の開発・フランスの農村
 歴史地理学・コンサイス地名辞典(日本編・外国編)ほか多数

県立高校入試について

県立田奈高校 教諭 長谷川貞栄 (45年文・地理学科卒)

中学生をおもちの校友会員の留級での関心事の一つに高校進学があると思います。今回より3回のシリーズで高校問題について載せたいと思います。

第1回目は、先日行なわれました高校入試です。

◎ 入学試験は入学者選抜資料の30%にすぎない !

10	内申	第2学年 9教科の評点の計 5点×9教科=45点	} 200点	50点満点 に 換算	100 点	入 学 者 選 抜 資 料
20		第3学年 国・社・数・理・英の計 10点×5教科×1.5=75点				
30		第3学年 音・美・保体・技家の計 10点×4教科×2=80点				
40						
50						
60	ア・テスト	国・社・数・理・英 10点×5=50点 音・美・保体・技家 10点×4×0.5=20点	} 70点	20点満点 に 換算		
70						
80	入学試験	国・社・数・理・英 50点×5教科=250点		30点満点 に 換算		
90						

表からおわかりのように中学2・3年生の内申は選抜資料の50%を占める。うち第2学年時においては5点法により9教科なので 5点×9教科=45点。内申に占める割合は200点満点の45点なので22.5%。また入学者選抜資料に占める割合は内申全てで50%なので50×0.225=11.25、即ち11.25%ということになります。入学者選抜は中学2年生4月から始まっているということです。内申は平常点であり、ア・テストは2年3学期に行なわれる県下一斉テストである。中学校では内申とア・テストを資料として受験校を決めます。また県立高校では内申(50点)、ア・テスト(20点)、入学試験(30点)で計100点満点として選考(第1次選考)します。

◎ 第1次選考の範囲

多面的、総合的な選考を促進するために第1次選考の範囲を各学校第1学年生徒の定員の80%とする。即ち定員の80%を上記の表(入学者選抜資料)による点数の上位者から合格者とする。

◎ 第2次選考の範囲は20%もある

第2次選考については、それぞれの高等学校の個性や特色に応じて成績の点数のみならず、資料の一部を欠く生徒も配慮しながら調査書等の選抜資料に基づいて総合的に判定して合格者を決める。即ち定員の残り20%は「成績」と「中学在学時の生徒会活動・クラブ活動・学級活動その他日常活動の様子」などを総合して合格者を決める——私のクラスにY君がいる。第1次選考には及ばなかったが、特申請項として性格種にか、誰とでも仲よく、何事もこつこつ最後まで責任をもって果たす……。入学者選抜会議において入学許可決定。一年間の追跡調査結果、模範生として評価されている。 ※ 次回は学校群・学校間絡論・学校の選び方です。

「第2回・幹事長杯ゴルフコンペ報告」

——立命大校友会神奈川県支部主催——

第2回ゴルフコンペは昭和59年10月9日(火)平塚富士見 C・C 平塚コースで15名(うち紅2点)の参加を得て開催されました。当日は快晴無風の言訳なしのベストコンディションに恵まれ、働蜂の立命人?をしばし忘れさせる見事なプレイが随所に展開しました。主なる成績(新ペリア方式に基づく)は以下の如くです。

- ・優勝 芦川 孝氏 (35理工 奈良建設(株)勤務) G=90, H=19.2, NET=72.8
- ・準優勝 稲川一丸氏 (20理工 関東精器(株)勤務) C=103, H=30, NET=73
- ・3位 車 宗成氏 (32法 オリオン化成(株)社長) G=110, H=36, NET=74
- ・ベストグロス賞 山口正秀氏 (36法 日本勧業丸九証券 渋谷支店長)

優勝の芦川氏は「久しぶりのゴルフでしたが、仕事を通じてのそれとは全く別で伸び伸び愉しくプレイ出来た結果の優勝です。次回も是非参加し、多くの校友と交わりたい。」と語っておられました。尚、当幹事長杯コンペに対し次の校友の方々から多数の賞品及び賞金が寄せられました。厚く御礼申し上げます。

- ・参加賞々品 森田 康夫 (19年理工) 松田 たかし (35年理工)
- ・金一封 相沢 良信幹事長 (30年理工・・・50,000円)
- 〃 二ノ岡 基 (31年理工・・・20,000円)
- 〃 石井 寛 (36年理工・・・10,000円)

(山口 健二・38年法 ・ 茂山 哲也 30年理工)

海 つ り 大 会 (第1回) 開 か れ る !

昭和59年10月21日(日)片瀬江ノ島「万司郎丸」にてアジ・サバつり大会開かれる。快晴に恵まれたが風強く波高し。相模湾に魚群求めて出船するも、さらに波高くなり警報が出たので帰港。山下(50年文)・長浜(54年経)・長谷川(45年文)ダウン。しかしベテラン松田(36年理工)・高田(42年法)両氏は木の葉のように揺れる船でたくさんのアジ・サバ・シイラを釣る。

太公望は高田敏彦氏(42年法)が獲得。下船後海辺でカンピールを開け次回は三浦半島剣崎あたりで磯つりをしてはどうかなどの意見が出ました。多数の参加をお待ちしています。(長谷川 45年文卒)

—— 情 報 交 換 会 (仮 称) に つ い て ——

神奈川県支部では情報交換会を昭和59年7月に発足させ毎月第3水曜日に開催しています。「校友会々員相互の親睦を深め、そして諸々の情報を交換し得る場」として発展しつつあります。

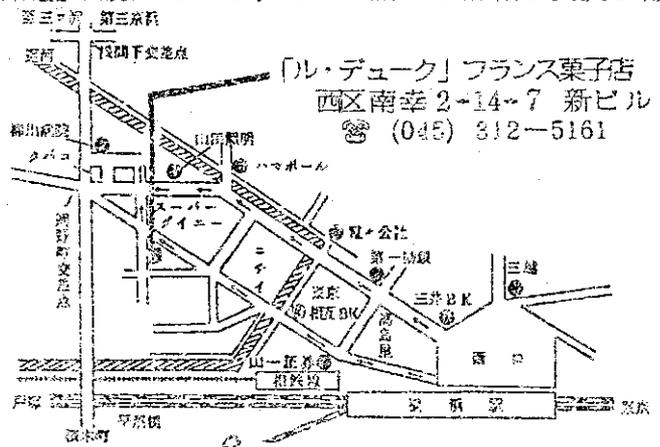
気軽に多くの校友から参加していただきたくご案内申し上げます。なお今までの会場「パークサイド」が閉店になりましたので会場を近くの「ル・デューク」へ移しました。

次回は4月17日(水)

PM 6:30~9:00

会費は3,000円位。

幹 事 ・ ・ 上 田 隆 (41年法)



昭 59 年 度 忘 年 大 会 開 か れ る

松 田 た か し (35 年 理 工)

12月9日(日)横浜中華街・横浜大飯店で開かれた。参加者47名。その中に夫人同伴7名もあり、まあまあの出席者であった。昨年に比し倍増であり当会の発展がうかがえる。毎年12月に開かれるのでより多くの参加を望みます。茂山氏(21年理工)の司会のもとで校歌斉唱、なごやかな歓談で始まった。カラオケ、ジャンケンゲームと続き、あっという間に2時間が過ぎ、応援歌を斉唱、フー！フー！立命ッ。で解散。参加された方々、また都合で参加されなかった方々、本年12月の忘年会へは是非参加して下さい。幹事の方々、御苦労様でした。



各 担 当 者 か ら の お 願 い

- 会費払い込みのお願い (会計担当 重谷)
 会員一人ひとりの会費が 今後の支部の充実した運営、発展に結びつくことと御認識のうえ 皆様の御支援、御協力をお願いいたします。
 振込先は 下記いずれの機関を通じて結構です。
 (1) 銀行 横浜銀行 横浜駅前支店
 普通預金 No.825229
 (2) 郵便局 横浜中央郵便局
 振替口座 No.横浜5-10799
 ※ 口座名はいずれも「立命館大学校友会神奈川県支部」
 (3) 現金書留 下記事務所まで
 〒221 横浜市神奈川区鶴屋町 2-21-9
 三善ビル 東亜興産株式会社横浜支店内 浜田平穂
 (昭60年3月21日総会出席の方は、当日の会費に含まれています。
 昭60年度分会費 昭60年4月1日～昭61年3月31日有効 円3,000)

- 勤務先・住所など変更の時は事務局まで御連絡下さい。
 (名簿発行委員長 登川)

- 花嫁求む！
 ・高校教員(32才) ・会社員(29才)
 50年文卒 54年経卒

- 求人・求職の募集をいたします。
 事務局へ ご応募を！

- 協賛広告を御願ひ致します！

編 集 後 記

- ・ 第6号発行にたどりつき、委員一同ほっとしております。
- ・ 会員諸氏の少しでもお役に立つよういろいろ工夫したつもりです。
- ・ 編集についてご意見ありましたら、お寄せ下さい。
- ・ 積極的な投稿をお待ちしております。

広報委員長(武田) 副委員長(上田、都築)
 委員(山下、川俣、長浜、長谷川)